

あかるいまち21

No.894号 2016年2月8日 組織部 TEL082-532-1264

	2月	4月～1月
組合員ふやし	25人	1,181人
出資金ふやし	300万円	1億1,968万円
純増	140万円	6,205万円



生協創立60周年記念(現在270枚普及)
齊藤とも子さん講演会に参加しよう!

地域づくりに向けて 包括支援センターと懇談開始



2月2日(火)、観音地域包括支援センターの方5名を迎え、この包括支援センターの管轄する地域にある支部(福島・都・観音天満支部)のみなさん8名に、理事会や組織部からも参加して、総勢22名の参加で、地域づくりに向けた懇談を行いました。

生協からは医療福祉生協の「地域包括ケアづくり」の理論と実践について紹介し、観音地域包括支援センターより、介護保険の制度の変更と広島市で「新しい総合事業」というものが始まること、そして、観音地域包括支援センターがすすめている活動について説明を受けました。

観音包括支援センターでは、地域の中で「運動ができる、通いの場」づくりを進めています。包括支援センターの職員がきっかけをつくり、その後は住民主体の取り組みへと進展させていきたいとのことでした。費用のことなどいろいろ質問なども出ました。2月5日にいきいきプラザで予定されている1回目の集まりにまずは参加してみようということになりました。

住み慣れた地域で暮らしたい。

2月5日、西部ブロックでは生協さえき病院で第一回「地域包括支援センターの役割 ～暮らしに困ったときは地域包括支援センターへ」とのタイトルで、広島市三和地域包括支援センターの久保田センター長より分かり易く話して頂きました。

地域包括支援センターの上手な活用法、健康寿命をのばしていくコツ、介護保険の活用法などところどころに脳いきいきのゲームを入れながら楽しく学びました。27人の参加者からは「楽しく勉強できました。」「健康寿命を延ばすように頑張ります」などの感想が寄せられました。



協同組合がよりよい社会を築きます



広島中央保健生活協同組合

